

ゼミナール連合本部の活動

ゼミナール連合本部 委員長
人間科学部 3年
かずし
渡辺 一充

ゼミナール連合本部とは本学教育におけるゼミナール重視の本旨にのっとり、各ゼミナール相互の連絡、親睦と研鑽を図ること及び各大学との連絡や親睦、協力を図ることを目的として活動している学友会所属の団体です。本年度は第36期役員として2年生6名・3年生6名・4年生4名の合計16名で活動しています。

最近の活動としては、10月に行われるPRイベントの企画をしています。この行事は新役員の2年生が主体となって初めて企画するものあり、これの成功がその後の自信につながっていくとも言えます。3年生はサポート役として2年生の手助けをし、力をあわせてこの企画を成功できたらと思います。また、「ゼミ発表会プログラム&ゼミPR文集」というものの作成もしており、各ゼミとの連携をとりながら、PRイベントやゼミ発表会などを視野にいれて、活動をしています。

学内の活動としては、主に毎月開催される「ゼミナール連合委員会会議」の運営をしています。ゼミナール連合委員会会議というのは、各ゼミナールに所属している学生に対して連絡事項を伝えるための会議です。その他にも、1年生が次年度の専門ゼミを選ぶための参考となるような「PRイベント」などの、様々な行事の企画・運営を行っています。また、ゼミナール連合本部が企画・運営をする最も大きな行事としては、ゼミ発表会があります。このゼミ発表会は他大学に例を見ない、1週間をかける大規模な行事であり、本学の誇れる行事の1つです。

学外の活動としては、日本学生経済ゼミナールに加盟しており、インナー大会・インター大会の運営のサポートや本学から大会に参加するゼミのサポートを行っています。これらの大規模な大会の運営に携わることで、他大学のゼミ連協と交流し、親睦を深めています。本年度はインナー大会が日本大学、インター大会が中央大学で開催されます。興味のある方は是非足を運んでみてください。

このようにゼミナール連合本部では様々な活動を行っています。各行事の詳細は学内掲示やゼミ連ホームページにてお知らせします。

本年度は各行事を参加者に満足してもらえるようなものに、私達役員もそれぞれが納得できるような運営を目指し努力していきたいと思っています。皆様の暖かいご声援のほどよろしくお願い致します。

◆ 公開ゼミ

公開ゼミとは、専門ゼミ(ゼミⅡ)の研究内容や雰囲気を知ることが出来るように、普段の活動を公開するものです。対象者は次年度専門ゼミの履修を希望している学生を対象にして

ます。専門ゼミを選択するには多くの資料が配布されますが、実際の活動が見られるのはこの公開ゼミだけです。ゼミ選択の参考になるので、是非参加して下さい。

今年度の公開ゼミは平成22年10月5日(火)～10月20日(水)まで行います。各ゼミの時間・教室は1号館前掲示板もしくは時間割にて確認して下さい。

◆ コース(専攻)・ゼミガイダンス

本学では、専門性の探求のために2年次より商学部及び経営学部の全ての学生が各学部に開設されているコースを選択することになっています。このガイダンスでは、各コースの専門性や特徴などについてわかりやすく説明します。また、コース選択は2年次に選択履修するゼミと密接に関連しており、その関連性・成績付与方法についても説明します。また、このガイダンス時にゼミ専攻の申込みに必要な「ゼミⅡ・Ⅲ申込用紙」を配布します。

したがって、新2年生はこのコース・新ゼミ員募集ガイダンスに、必ず参加して下さい。

コース・新ゼミ員募集ガイダンスは、平成22年10月4日(月)に行います。学部ごとに教室が異なりますので、1号館前掲示板で必ず確認して下さい。

◆ ゼミPRイベント

ゼミPRイベントとは、2年次に専門ゼミを履修しようと考えている学生を対象に、上級ゼミ生が自らのゼミをわかりやすく、学生視点で発表・紹介・説明を行います。

公開ゼミやゼミ発表会では得ることのできない情報などが手に入るかもしれません。

なおこのPRイベントは平成22年10月4日(水)に行われる「コース・新ゼミ員募集ガイダンス」終了後に行います。

◆ ゼミ発表会

ゼミ発表会とは、ゼミⅡ以上の専門ゼミが日頃研究してきた成果発表を行うものです。ゼミ発表会は約30年前から毎年開催されている伝統行事で、開催当初よりプレゼンテーション形式による発表会を行い、他大学等からも高い評価を頂いています。今年度は昨年より1パート減ってしまいましたが、99パートが参加します。本年度の開催日程は平成22年11月8日(月)～11月12日(金)までの5日間です。

このゼミ発表会がゼミ申込前最後のイベントになります。是非この機会にゼミ発表を聴講し、ゼミ選択の際の参考にして下さい。

日付	時間	1101教室		1102教室		タカチホホール		
		ゼミ名	テーマ名	ゼミ名	テーマ名	ゼミ名	テーマ名	
11月8日(月)	9:50~10:25	開会式						
	10:40~11:15	西山第一	中小企業の会計基準	竹内第二	しまむら	竹内第一	SoftBank mobile	
	11:30~12:05	成田第二	振替価格	水野	大奥	田中第一	愛と歪んだ愛	
	13:00~13:35	成田第二	予算	新津第一	モバイル端末の多様化と生活構造改革	吉原第一	結婚はなぜするのか・結婚のメリットとは	
	13:50~14:25	渋谷第一	電子書籍の現状と未来像 Ipadの魅力	新津第一	多様化する音楽産業の課題と展望	楠美第一	借金大国日本	
	14:40~15:15	渋谷第一	電子図書館の現状と未来像 Googleの戦略	新津第一	ヒット商品市場戦略の変革	後藤第一	消費税	
15:30~16:05	寺内	祇園祭の法文化	櫻井第二	アメーバ経営	西山第二	金融商品～有価証券の評価について～		
11月9日(火)	9:00~ 9:35							
	9:50~10:25	森平第二	独占禁止法とは?	藤田第二	外資系携帯電話メーカーの日本進出戦略			
	10:40~11:15	竹内第二	東京ディズニーリゾート～成功要因分析と今後の課題～	小林	ディズニーランド VS USJ	小沢第一	美容サービス産業(エステティックandネイル)	
	11:30~12:05	竹内第二	ラグジュアリーマーケティングについて	舟木第一	アメリカ西部開拓時代	金杉第一	人間の生きる目的とは	
	13:00~13:35	竹内第二	Francfranc～マーケットリーダー・ニトリへの挑戦～	永戸第二	企業とTwitter	金杉第一	人間に本質は善か悪か?	
	13:50~14:25	竹内第一	B-Rサーティワンアイスクリームの経営戦略	藤井第二	パナソニック及びソニーにみる3D映像戦略の比較考察	小林第一	セールとはなにか	
14:40~15:15	岡田	デートDV	菅野第一	動く錯視現象	大島第一	家電業界の流れ		
15:30~16:05	岡田	未定(1号館掲示板にて確認してください。)	黒川第二	未定(1号館掲示板にて確認してください。)	降旗第二	トヨタのリコール問題(課題)		
11月10日(水)	9:00~ 9:35	倉茂第二	リース取引の会計処理	倉茂第二	株式会社の誕生と簿記の進化			
	9:50~10:25	藤田第一	ビジネスプラン発表	佐藤第一	携帯会社大手3社の比較	西山第二	IFRS導入による収益認識の変更による影響	
	10:40~11:15	小沢第一	顧客と企業との共創化傾向クックパッド編	松崎第一	家電量販店VS地域家電店	嘉瀬第二	大学生の昼食事情	
	11:30~12:05	松田	屋上菜園	長谷川第一	“めざせ!子ども救命マスター”こども向け救命講習メソッドの開発	恩蔵第一	医療保険とは	
	13:00~13:35	染谷第一	やりたいことがないのは不幸なのか?	鈴木第一	ニコニコ動画について	楠美第一	小さな政府	
	13:50~14:25	小向	笑いの効果	成田第一	高千穂祭模擬店決算報告	松崎第一	オリエンタルランドのもうけ方～3つの事業の関係性からみて～	
	14:40~15:15	新津第一	映画館の現状と将来	木村第二	生きづらさとカウンセリング	石井第一	山崎製パンの有価証券報告書の分析	
	15:30~16:05	新津第一	新時代のブランド価値創造と展開～二極化消費時代のブランド戦略～	林第二	包括利益と当期純利益	園部第二	大学全入時代	
11月11日(木)	9:00~ 9:35	小林	中価格ブランドのマーケティング戦略	河合	魚屋さんの仕事			
	9:50~10:25	大島第一	ヤマト運輸の競争優位性について	西山第一	IFRS(国際財務報告基準)とは何にか～企業会計の今後～			
	10:40~11:15	田口第二	割のいいバイトとは何か	松崎第一	FREE戦略			
	11:30~12:05	庄司第二	アクティブ型日本人～次世代広告～	水野第一・二	坂本龍馬			
	13:00~13:35	庄司第二	百貨店の再生	内堀第一	なぜ国が破産するのか	佐野第一	現在の若者の消費行動	
	13:50~14:25	松谷第一	子供と言葉	小沢第一	Amazonにみる顧客と企業との共創化傾向	小林第一	株式会社TENGAの戦略	
14:40~15:15	園田第一	世界の偽ブランド工場in中国	庄司第二	認知プロセス	小沢第一	美容サービス産業～伝統ビジネスVS新興ビジネス～		
15:30~16:05	降旗第一	FREE WORLD	園部第二	タワーレコード～NO MUSIC, NO LIFE～	安本第一	中国の偽キャラクターについて～日本との比較～		
11月12日(金)	9:00~ 9:35	飯島第一	「ユーロ」の泣きどころ～ギリシャ危機に見る統一通貨の脆弱さ～	西山第一	損益計算書が変わる～包括利益計算書の登場～			
	9:50~10:25	尾関第一	共存と恋愛依存症	飯島第一	爆弾を抱えた日本の財政～膨張する財政赤字をどうするか～	竹内第一	Family mart	
	10:40~11:15	嘉瀬第一	外国人観光客	竹内第一	株式会社 サイゼリヤ	笹金第一	AR ～セカイカメラから見た広告～	
	13:00~13:35	嘉瀬第一	西友(ウォルマートストアーズ)	徳田第一	大人とは何か	笹金第一	デジタルサイネージの新しい在り方	
	12:05~13:00	松丸啓子第一	ネクラとネアカについて	藤井第一	グローバル戦略にみる海外合弁戦略の目的と課題～トヨタ自動車に見る中国合弁企業戦略の研究を通して～	長井第一	「家近保育所」・「駅型保育所」それとも「企業内保育所」?	
	13:50~14:25	長井第一	男性の育児休業促進に向けて	倉茂第二	資産除去債務について	笹金第一	SIMロックフリー化は必要なのか!?	
	14:40~15:15	森平第一	コミュニティサイトにおける問題、トラブルの解決策を考える	※開会式終了後、続けて「西山第一ゼミ」の発表に移ります。発表パート、講評ゼミの学生は、開会式から出席してください。 ※閉会式は、「森平第一ゼミ」の発表終了後に続けて行います。聴講者、発表パート、講評ゼミの学生は開会式に出席してください。 ※テーマ名、発表内容は変更となる場合がありますのでご了承ください。				
15:30~16:05	閉会式							

教育実習体験報告

教育実習を終えて

商学部商学科4年

永見 友季



私は6月7日(月)から18日(金)までの2週間、母校である茨城県立古河第一高等学校で教育実習を行いました。担当科目は商業科目の簿記で、HR(ホームルーム)と共に1年3組を担当しました。母校ということもあり、在学中に教わった先生方がたくさんいらして、快く接してくださいましたので、安心して実習を行うことができました。

実習の1カ月前に、事前指導として教務主任の先生や指導教諭の先生と打ち合わせを行い、授業を担当する簿記の教科書を渡され、教材研究を始めました。

実習1週目は、主に商業科目の先生の授業を見学し、授業の進め方(導入・展開・まとめ)、板書方法、生徒への発問、机間巡視を学びました。空き時間には先生方の授業を参考にしながら、教材研究に励みました。3日目からは朝のHRを担当し、放課後には教室の清掃を生徒と一緒にコミュニケーションを図りました。

実習2週目から簿記の授業を行いました。実際に生徒を前に授業を行うと緊張してしまうと思っていたのですが、それほど緊張することなく落ち着いて授業を行うことができました。これは、事前にしっかりと授業の準備(指導案、板書計画)を行った結果だと思います。また、簿記は練習問題を解くことが多いので、生徒が授業を受けやすいようにプリントを工夫しながら作成しました。

放課後には、指導教諭の先生と毎日打ち合わせを行い、アドバイスを受けました。初めて授業を行った日に、「教師の数だけ授業のやり方があるので、自信を持って自分で用意した授業を行ってください」と言われ、とても自信が持てました。そのお陰で、最終日に行われた研究授業ではたくさんの先生が見ている中で50分間、気持ちに余裕を持って授業を行うことができました。また、生徒から「先生」と呼ばれるたびに、生徒の前では大学生ではなく、実習生といえども一人の「先生」となるのだから、より一層気を引き締めなければならないと感じました。

実習を終え、授業・清掃・部活動指導など、今まで生徒の立場でしか知ることのなかった教師の仕事を手近で体験することで、新たな発見が多く、ますます魅力のある職業だと思いました。最終日に生徒から貰ったすてきな花束と寄せ書きに、感動し思わず涙を流しました。先生方との関わりも、一生忘れることのない思い出となりました。大学2年次から教職課程を履修し、今まで努力してきたことが形となって自分に返ってきたことに嬉しく思いました。

最後になりましたが、教職課程の先生方や、事務の方々には大変お世話になりました。みなさんのお陰で無事に実習を終えることができました。この場を借りて御礼申し上げます。

教育実習体験報告

児童とのコミュニケーションの大切さ

人間科学部人間科学科
児童教育専攻4年

寺松 達也



私は6月7日(月)から7月2日(金)までの4週間、東京都西東京市立栄小学校で教育実習を行いました。担当教科は音楽と図工以外の小学校全科であり、3年1組を担当させていただきました。

東京都での小学校教育実習は、教育実習を受ける機会均等の確保および公立学校の学校運営に支障を生じさせないようにとの観点から関係機関の調整を行っていることもあり、残念ながら母校ではない小学校で教育実習を行うことになりました。

実習が始まり、最初に行う先生方への挨拶、児童への挨拶では緊張の連続でした。最初の授業では、「児童に教える」ということに意識を傾け過ぎた点や、緊張のし過ぎで説明だけで精一杯になってしまった点など、児童にとって「つまらない」授業を行ってしまいました。しかし、その後の指導教諭や学年の先生方との反省会の中で助言を頂くことで、少しずつではありますが、反省点を改善し、成長することができました。

実習の後半では、「1日担任」をやらせていただきました。「1日担任」とは、朝の会から帰りの会まで全て1人で行う

もので、生徒指導や給食指導など授業以外の様々なことを経験することができました。これらの経験はクラス全体の児童の状態を把握しながら、コミュニケーションを取るということがとても大切だと改めて知ることができました。また、小学校の先生は1分1秒を非常に大切に活用しており、限られた時間内において児童と接していく毎日に、想像以上に体力が必要な職業だと強く感じました。しかし、その反面、多くの達成感や充実感を得ることができ、やりがいのある職業だとも感じました。

今、教育実習を終えて、4週間はあっという間でしたが、非常に充実した日々の中で貴重な経験をさせていただき、感謝の気持ちでいっぱいです。現場の先生方からは、日々多くのことを学ばせていただき、私は「小学校の先生になりたい」という気持ちがより一層強くなりました。

最後となりますが、実習校の校長先生をはじめ、指導教諭や諸先生方、児童、高千穂大学の教職課程をサポートして下さった方々、みなさんのお陰で無事実習を終えることができました。この場をお借りして御礼申し上げます。

教職課程について

本学では商学部の学生は高校の商業・地理歴史・公民及び中学校の社会科の免許、経営学部の学生は高校の商業・情報の免許、人間科学部児童教育専攻の学生は小学校の一種免許が取得でき、現在は約100名の学生が教職課程を履修しています。

現在、教員を取り巻く環境では、教員免許更新制の導入をはじめ、教員の資質向上に向けて積極的な取り組みが行われています。このような流れの中で、「とりあえず教員免許でも取っておこう」という安易な気持ちで教職課程を履修することはお勧めできません。また、教員免許を取得するためには卒業に必要な単位の他に、教職に関する科目や取得する免許の専門性を深めるために必要な教科に関する科目など沢山単位を取得することになります。「授業や各ガイダンスの欠席が多い」、「アルバイトや部活動を優先する」ということでは、教員免許の取得はとて難しいことです。従いまして、教職課程では本気で教師を目指すという学生をお待ちしています。

教職課程新規履修ガイダンス

来年度より教職課程の新規履修を希望する1・2年生(人間科学部人間科学専攻は除く)を対象に教職課程新規履修ガイダンス(11月上旬予定)を実施します。

詳細につきましては、ガイダンス時に説明しますので、「将来、教員になりたい」という方はご出席ください。なお、ガイダンスにて申込用紙等を配布します。欠席された場合には教職課程の履修はできませんので、ご注意ください。日程につきましては、決定次第、掲示板にてお知らせしますのでご確認ください。

高千穂同窓会

同窓会の学生支援

同窓会は、会員相互の親睦を図るとともに母校の発展を支援していくことを目的としており、全国28地区に支部があり活発な活動を行っています。

主な活動は、総会・懇親会を5月に、暮れには忘年懇親会を開催し親睦交流を図っております。同窓会会報誌「高千穂」を年2回発行し大学の近況や同窓会の各支部の活動報告などの情報を提供しております。

在学生の皆さんは大学に在籍している間は準会員で、卒業すると同窓会正会員になります。会費は、在学中に授業料等と一緒に卒業後25年間分を納めていただいております。

今回は、同窓会が現在行っている大学支援についてご案内いたします。

1. 高千穂学園同窓会奨学金

平成21年度より在学生で学業成績が上位で人物優良な者の学業を支援する目的で導入しました。

奨学金は5万円を授与いたします。

資格は大学の奨学金制度の「学業成績優秀者奨学金制度」及び「小池厚之助賞」を、在学中2回以上授与されたものに対して4年次に大学が行う表彰式に行っております。

平成22年度は21名を表彰しました。内訳は、商学部10名、経



同窓会事務局

営学部5名、人間科学部6名でした。

2. 学友会主催行事や諸活動への支援

学友会優秀団体への支援活動を行っています。これは、クラブやゼミナールの活動に対して毎年5月の同窓会総会・懇親会と12月の同窓会評議員会・忘年懇親会の席で行っております。

昨年の12月は、和弓部、竹内ゼミ、庄司ゼミを、今年度の5月は、硬式野球部、アメリカンフットボール部、硬式庭球部を表彰しました。

活動奨励金として5万円授与しています

3. 留学生との交流支援

留学生相互の交流を図りより豊かな学生生活を送ってほしいと見学会やレクレーションを行っています。これまでに2回ボウリング大会を行っています。今年度も10月30日土曜日に王子のボウリング場で行う予定をしております。

4. そのほかの支援

学友会体育会主催体育祭参加者への弁当と飲物の支援などを行っています。



父母の会

「創設者川田先生の碑を訪れて
(浦戸城墟にて)」

父母の会四国ブロック支部長
野村 和可

年度目標の一つ。父母の会の活動や大学をもっと多くの父母の皆様にも知ってもらいたい、この思いを他支部との交流でもっと充実させたものにしたいと願いがありません。11月の合同研修会で、川田鉄弥先生の「碑文」のある高知・桂浜を訪れようと急な話が決定したのです。

「四国・高知・桂浜」で近畿・四国ブロック合同役員会を実現することが出来ました。近畿ブロック支部長・副支部長は前日より高知に向けて近畿を出発。当日、私は皆さんをお出迎えするのに準備万端？

高千穂学園の創始者であります川田鉄弥先生は、中学の頃から漢文に秀で、23歳のときに浦戸を訪れたときに作ったものとされている碑文が残されています。



まずは、石碑のある桂浜公園内松閣跡地に向かいます。目の前の薄汚れた石碑を、突然の申し出にも関わらず、快くお父さん方が私の用意したブラシを片手に水洗いをして下さいました。感謝感謝……

「今度来るときは、洗剤も持参して？高圧洗浄機とかで本格的な水洗い？をしないとねえ」とか言いながら……

そしてきれいになった「石碑」の前で記念写真をバシヤリ。場所を移しての合同役員会。新年度の活動内容の確認と合同役員会を継続させようとの目標を掲げ、各支部の活動を充実させ、父母の会の活動に多くの会員の皆さんに参加してもらおうとの話し合いを持つことが出来ました。

創立100周年の際に作成した映像「高千穂の源流」にも映し出された桂浜へもおり立ち、「坂本龍馬」の石像にも接近し、「四国・高知・桂浜」を堪能していただけたと思います。

短い時間ではありましたが、楽しく有意義な時間が共有できたことを感謝しています。

役員の皆様お疲れ様でした。そして大変お世話になりました。次回はどこでお会いできるでしょうか。



編集後記

▼「クォーター高千穂」第29号をお届けします。▼表紙の写真と巻頭にも記事が掲載されていますが、留学生の皆さん、富士山登頂おめでとうございました！日本一の眺望はいかがでしたか？▼ニュースにもなっていますが、今年は富士山に非常に多くの登山者が訪れているそうです。私も、留学生の皆さんの後に家族で富士山に登りましたが、狭い登山道が大渋滞でした。▼多くの人が日本一の名峰を目指すことは良いことなのですが、反面、マナーの悪さも目立ちました。拾いながら登ったゴミは最後には袋一杯。登山道での非常識な行動。何とも後味の悪い思い出が残りました。▼本当に富士山が「日本一」の場所になるためには、一人一人がルールを守って、お互いのこと、そして山のことを考えながら登ることが大事だと思います。大学もきっと同じですね。▼さて、歴史的な暑さとなった夏休みが終わり、学園祭にゼミ発表会、学内が活気に満ち溢れる季節となります。学業に運動、芸術などなど。皆さんにとって「〇〇な秋」でしょうか？ 実りある、学生生活の良い思い出を作ることができるようにがんばりましょう！（編集室）

編集委員

●編集長 吉崎信彦
●委員 高橋 拓
深津 剛





喫煙に関するルールについて

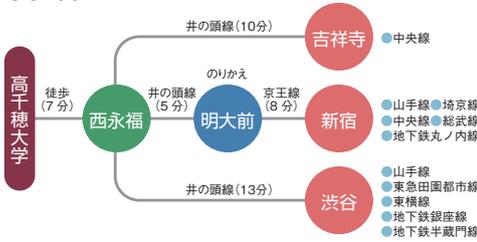
本学キャンパスのある杉並区では、条例により区内全域で、歩きタバコや吸い殻のポイ捨てを禁止(一部の路上禁煙地区では条例違反者から過料を徴収)しています。

本学においても、構内の指定された場所以外での喫煙は禁止とし、また、通学路等での喫煙についても歩きタバコや吸い殻のポイ捨てについては厳重に注意を与えています。

しかし、いまだにルールを守らない喫煙者が多く見受けられ、非喫煙者のみならず近隣住民の方々、ルールを守って喫煙している人にも多大な迷惑を掛けることとなっています。

高千穂大学の学生として、節度ある行動をとり喫煙マナーの向上を心がけてください。

ACCESS



- 山手線・新宿駅または渋谷駅から西永福駅(井の頭線)まで13分
(新宿駅からの場合は、明大前のりかえ)
- 中央線・吉祥寺駅から西永福駅(井の頭線)まで10分
- 西永福駅から本学まで徒歩7分

CAMPUS MAP



Quarterly 高千穂 | Vol.29

Quarterly高千穂 第29号
発行責任者：吉崎信彦 発行：高千穂大学
〒168-8508 東京都杉並区大宮2-19-1 TEL 03-3313-0141
発行日：平成22年10月10日 無断転載・複製不可

